

問題一

日本人の感受性は「繊細、丁寧、緻密、簡潔にものや環境をしつらえる」能力であり、世界に貢献できる、また、経済大国ではない次の時代の日本の誇りを求める気持ちが強く感じられる、そうした日本人の美意識が現れた現代的なデザインのこと。
(112 字)

問題二

商店街は、単に物を売ってきただけでなく、人を育てたり、そのための祭りをしたり、その街の歴史で多様な役割を果たしてきた。このような古くからの商店街がシャッター通りになる形で失われることで、そうした、商店街における歴史のある機能が消滅するから。(120 字)

問題三

ある商店街を、商業、福祉、教育、文化など多様な機能を持った「生活総合産業」のための街として再生することで、商業の範囲内で魅力的なものを、その意味をより多面的に考えるような形で魅力的に味わう、といった暮らしが可能になる。その商店街の役割がそのように持続的に果たされることで、その地域への、愛着、思い出、誇りなどは育まれる。

現在、日本でも、街の中心地にその多様な機能を集約させるコンパクトシティの構築に向けた動きが活発になっているが、この動きは、その内容を考慮すると積極的に評価できる。コンパクトシティの構築の際には、そのような商店街の姿も参考になると考えられる。

日本の各地域における以上のような取組で、海外から見て日本がより魅力的になる。このことは、日本における異文化交流による日本の商店街の役割の更なる充実、といった形での好循環の形成につながると考えられる。よって、著者の見解は妥当である。
(395 字)